

なんでも相談会事例報告から

いのちと暮らしを守るなんでも相談会実行委員会 福本和可(司法書士)

◆コロナ災害をのりこえる いのちと暮らしを守るなんでも電話相談会

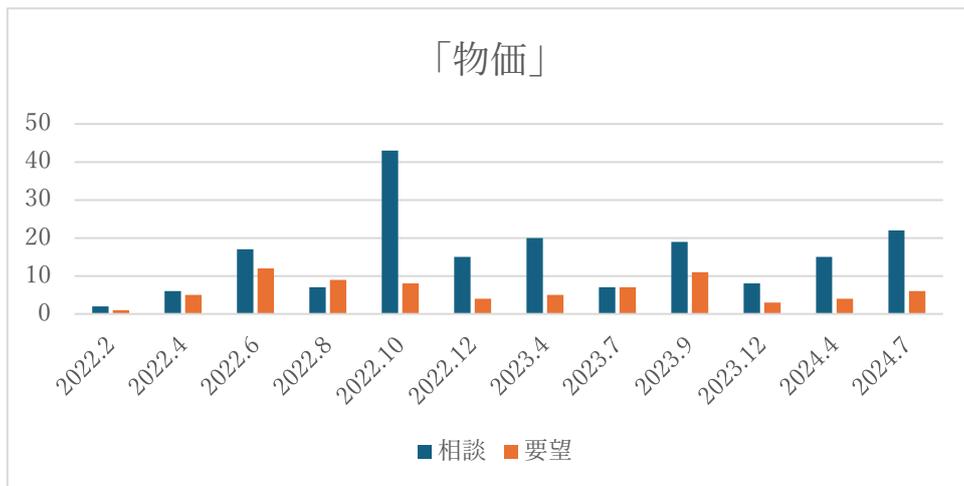
2020年4月～2022年12月 全17回

◆いのちと暮らしを守るなんでも相談会

2023年4月～2024年7月 全6回(現在)

→いずれも毎回、全国から件数報告と相談事例・国への要望の報告

◆2022年2月第12回から、コロナ相談会の相談事例・国への要望に「物価」というワードが生活苦の文脈で登場し、その後毎回出てくるようになる。



◆「生活保護利用者の生活苦」

「物価」というワードの出現時期と同時に生活保護利用者から生活苦を訴える相談が目立つように。

開催時期	2022.8	10	12	2023.4	7	9	12	2024.4	7
全体	499	774	401	913	644	849	638	432	489
「生活保護利用者の生活苦」	13	27	11	19	8	15	9	18	23

相談事例

- ①50代男性 1人暮らし。生活保護利用者、物価の値上がりがきつい。食費で保護費がなくなる。床屋にいけない。(2022.8)
- ②40代男性 単身。生活保護利用。たばこもやめて節約しているが、生活が苦しく、所持金もわずかで死にたいと思う。(2022.8)
- ③60代女性 生活保護費が下がっている。電気が使えない。100均の懐中電灯を使っている。弁当を半分ずつ食べている。(2022.10)
- ④60代女性 単身。生活保護利用中。物価高騰で例えばコロツケが50円から100円に。トイレットペーパー、ティッシュなどの紙製品、パン類、麺類など幅広い品物が値上げされ、生活保護費だけでやっていくのが以前にも増して厳しい。電気・ガスも値上げ。水道代は半額だけの免除なので負担大きい。(2022.10)
- ⑤80代女性 単身。生活保護を利用させていただきながら、申し訳ないとは思いますが、生活費が足りない。高齢で身体も弱ってきており、物価上昇で、ガスは最低限しか使わず、エアコンは使うと電気代が大変なことになるので、一日中湯たんぽを抱いて過ごしている。他者とのコミュニケーションはほとんどない。(2022.12)
- ⑥60代男性 視覚障害1級で生活保護受給中。物価高で生活費は2割くらい上がっている。今の保護費では生活していけない。エアコンはあるが使わず、オーバーを着てコタツに入っている。冬場でもシャワーで、お風呂は3年入っていない。(2022.12)
- ⑦60代男性 単身、無職、持病で働けず10年以上前から生活保護利用中。食事は完全自炊、酒も喫煙もせずぎりぎりの生活。それでも物価高で生活保護だけでは月の途中でお金が足りなくなる。(2023.4)
- ⑧女性 単身。生活保護を受けているが物価上昇の影響が大きい。持病がありバランスの良い食事をとりたいができない。空腹時には水を飲むくらいしかできない。(2023.7)
- ⑨60代男性 現在、生保受給中だがこの物価高騰で保護費だけでは生活していけない。家計簿をつけ切り詰めた生活をしているが毎月1万円は足りない。冷房もなくこの夏、熱中症に何度もなった。僻地なので出かける際のバス代もかかる、何とかならないか。(2023.9)
- ⑩80代男性 無職。生活保護を利用しているが、物価高で生活を切りつめても苦しい。月の途中で食料に困ることもある。(2023.9)
- ⑪80代男性 無職、単身。生活保護利用中。インフレで生活が苦しい。灯油1000円台から2000円台に。(2023.12)

⑫生活保護利用中だが生活が苦しく水だけで過ごす日もある。物価高もきつい。生きていくのがつらい。(2023. 12)

⑬70 歳になってから、保護費が 5000 円程度下げられた。以前はそれでも外食で牛丼くらい食べられたが今はそれもできない。1日2食。クーラーはあるが、去年は1度も使わず、濡れタオルを身体にかけてベッドで寝て暑さをしのぐ。(2024. 4)

⑭50 代男性 無職。生活保護利用中。食料がほしい。家電が壊れ、冷蔵庫使えず、給湯器お湯が出ない。食材もスーパー等で安い物を買っているが生活が苦しい。特に野菜の高騰。1日1食が、週2日くらいある。5年前に上司のパワハラで失職した。(2024. 4)

⑮80 代女性 2人世帯。収入は年金と生活保護。生活保護費が低すぎる。普段は扇風機もつけずに我慢し、1日1食、安いせんべいを水に浸して食べている。夫はレタスが噛めないほど衰弱している。(2024. 7)

⑯80 代女性 無職。生活保護を利用しているが、物価高でまともに食事を取ることができていない。水道・光熱費を2か月分滞納している。水道局・電気会社に延納措置をお願いしているが、今後支払いが滞った場合、水道を停めると言われている。月の食費は1万5千円でおさめている。病気を持っているため食事に気をつけなければいけないのだが、献立はお粥などに限られ、量も少ないため、毎日白湯やお茶を飲んで空腹を凌いでいる。毎日暑い日が続くが、電気代節約のためエアコンはなるべくつけないようにしている。(2024. 7)

⑰40 代男性 単身。障害年金と生活保護が収入。物価高で生活が苦しい。油、乳製品、パンなど食料品全般、光熱費が値上がりしているため、食事は1日1食にしている。(2024. 7)

⑱80 代女性 単身。生活保護費が減らされて生活が苦しい。脳梗塞で左半身不随だが要支援2なのでパット代も介護タクシーも使えない。電気代と食費をさらに削るしかなく生きていけない。(2024. 7)